

カテゴリー	記号番号	コメント
台風や津波・高波に対する対策	sa0001	近郊住民の一番の思いは、台風時や津波時の手当てである。
	sa0002	台風による高波や津波。
潮位が高くなっていないか	sa0003	砂が少ない。貝がいなくなった。侵食だけなのか、潮位がどれくらい上がったのか。
松林の対策も	sa0004	海岸付近の松林の整備をして欲しい。
	sa0005	松林の中が地盤沈下しているのを行政は知っていますか。(東国原知事はマニフェストでは困っている人のところには飛んでいくと言っていたのに、なぜ国任せにするんだ!)
一ツ葉有料道路について	sa0006	有料道路の利用者(北線)、現在643/日弱程あります。生活観光道路として定着し、必要不可欠であると思っています。
	sa0007	有料道路の管理者として、過去2度の費用負担により復旧した経緯があります。出来るだけ早い対策を要望します。
昔の海岸を今の子ども達に	sa0008	幼少時代の海岸での遊びを今の子ども達にも経験させて欲しい。
対策について(その1)	sa0009	一ツ瀬川河口は、波止めのテトラを入れてもらいたい。1.5mの波でも出入りがむずかしい、川の中の方が浅く船がつかえる。そのため、漁業関係者は宮崎港に比べて漁に出る日数が少ない。
	sa0010	一ツ瀬川右岸侵食によって川との境がなくなっている。台風が来たとき、大きな災害になる可能性が高い。
対策について(その2)	sa0011	海の砂が少なくなり、川の中の砂が多くなった。潮との関係? 離岸堤を二重にして波の力を弱める。
	sa0012	緊急対策として、まず矢板をうち、離岸堤を沖に入れる。矢板の内側に今●ってる砂をつむ。至急、一ツ瀬川右岸。
	sa0013	離岸堤の沈下問題。地盤の移動か?
砂が供給しない要因	sa0014	砂の供給源の問題(ダムで堆砂)。
ヘッドランド工法について	sa0015	ヘッドランド工法と養浜が最適であるとの見解ですが、仮に砂が堆積した際の飛砂対策はどうされるのか。
	sa0016	ヘッドランドでOKか?
全国の海岸侵食について	sa0017	全国的な海岸侵食はどのような状況なのか。
対策について(その3)	sa0018	侵食対策の進み具合や思わぬ変化に対応して、その都度行政の発表と住民の意見を聞くようにしてください。海岸侵食は予想外に早く進んでいるので、今後どうなっていくかわからないからです。
	sa0019	行政は海岸侵食が今後どの程度の速さでどこまで進むと思っているのか。工事をして確実に効果が上がる保障はあるのか。結局ダメになったりしないか。遊びはどうでもいい、防災と地盤沈下対策に集中して欲しい。
	sa0020	今までの護岸工事を見ていると、全部失敗しているようにしか見えない。海の専門家に本当に話を聞いているのだろうか。いいかげんなことをして、侵食を大きくしないで!
	sa0021	専門家は誰々をそろえていて、どういう意見とか研究をしていて、どう対策しようとしているのか。全部その都度逐一発表してください。それについて住民の意見を言う機会を常時設けてください。
	sa0022	工事期間中の住民への対策を忘れないでほしい。
	sa0023	住民が海へ気楽に遊びに行ける工法でお願いしたい。
	sa0024	侵食対策と併せて若者たちの遊び場所(集まる場所)がほしい。
意見の数		24

カテゴリー	記号番号	コメント
不安	sa0025	子どもの時代に比べて海岸全体がものかない姿になっている。
	sa0026	何をやっても港がある限り、家屋敷が流れる。
	sa0027	不安どんどん砂がなくなる。
	sa0028	侵食による生態系の変化と自然の脅威。
	sa0029	津波の恐怖。
	sa0030	9月測定した砂浜が20mだった。11月測定したら0m(1回の台風で20m)消失した。
	sa0031	今の子どもがかわいそう。
明らかにして欲しいこと	sa0032	全国的傾向はどうか(消失)。
	sa0033	砂浜の消失。
	sa0034	砂浜消失の要因
	sa0035	住吉浜と富田浜の違いはなぜ。
昔の思い出	sa0036	河口でシジミ取り(～S45まで)
	sa0037	夏は浜辺でグチつり、石崎から住吉までカンテラの行列。冬は金たけ取り。夢があった。
	sa0038	石崎川で1mのスズキがとれた。(河口から1km)
	sa0039	昔は遠足に行っていた。
	sa0040	中学、高校、大学時代はキャンプができていた。
	sa0041	地引き網。
望むこと	sa0042	人と人とのきずな作りの場になることを望む。
	sa0043	今は雰囲気暗い、完成時には明るく楽しい雰囲気に。
	sa0044	海岸工事完成時には人が楽しめる公園化が望まれる。
別の方法の検討	sa0045	有料道路の移転を考えて。
	sa0046	侵食の阻止を考えず、砂浜や海岸を広くする方途を考えては。
	sa0047	宮崎港の機能移転しかない。
	sa0048	養砂及び砂の流出防止工事は必要。
今の工事に対して感じること、問題点	sa0049	現状は工事に思いやり温か味がない、ただ工事をしているのみ。
	sa0050	養浜の弊害は考えているか。
工事の長さについて	sa0051	工事、速くしてもらいたい。
	sa0052	過去20年で砂が流れた。→工事は20年で大丈夫か?
今後の姿(望むこと)	sa0053	侵食工事のみでなくて、郷土づくり、人づくりも視野に入れてほしい。
	sa0054	完了して多くの人が美的にも景観的にも100年先にも喜ばれるものにしてほしい。
その他	sa0055	養砂運搬車の増加による通学生の安全性。
	sa0056	ヘッドランドを「アソビ」の場としたい。
	sa0057	子どもたちが遊べて、思い出づくりができ、郷土を思う心の育成にもつながれば…。
意見の数		33

カテゴリー	記号番号	コメント
現状	sa0058	石崎川口については、近年、砂の増減が見られる。2年前は減、最近増えている。もう少し現状を見守ったらどうか。
	sa0059	現在の護岸を見ると不安になる。
原因	sa0060	対策のありかたについて。港、ダムが原因であると明言されていた。ならば、港、ダムへの対策は、なぜ何もされないのか。
	sa0061	侵食の原因は地球温暖化によらないか。
	sa0062	ダムが原因では？
対策	sa0063	ヘッドランドの耐久年数はどのくらいあるのでしょうか。
	sa0064	30年間、海岸を巡回してみて、ヘッドランド工法が最良の工法であると思う。
	sa0065	ためしにヘッドランドを2~3ヶ所つくってみる。
	sa0066	侵食対策については行政が強力なイニシアチブを発揮して欲しい。(例：養浜+ヘッドランド式)
他の問題	sa0067	一ツ瀬川河口の砂増養~水害。河口の砂の堆積が水害につながる。→一ツ瀬川河口にたまっている、いらぬ河砂を養浜に使えないか。
環境	sa0068	養浜工の方法によってはアカウミガメの上陸に悪影響を及ぼしている。
	sa0069	人工的な構造物を作ることによって亀などの生態に変化が起きるのでは。
取り組み	sa0070	現在の砂浜の状況を考えると、早急な対策を要する。官民一体の具体運動が大事である。利害関係の調整が先決。(アカウミガメ、漁業、サーフィン等)
	sa0071	そもそも、この海岸を一ツ葉海岸と思っていました。検討委員会の行政に対する権利をもっと明確にして、地域住民の意見がもっとしっかりした裏付けのもと保障されるルールづくりが必要ではないでしょうか。
	sa0072	懇談会の位置づけについて。まちづくりをするにあたって、所有権に対し、利用権を認める前提が必要だと思うが、それが認められているのか。つまり懇談会の意見は反映されるのか。聞くだけなら利用されている気がするが…。
	sa0073	莫大予算獲得のための政治的運動、住民の署名運動なども？
意見の数		16

カテゴリー	記号番号	コメント
不安な事	sa0074	津波に現状では対応できない。
	sa0075	一ツ瀬川河口の砂の流出は非常に急。防災上不安。
	sa0076	早く侵食を防ぐことが先決。
	sa0077	富田浜の砂を二ツ建海岸へサンドバイパスを緊急に考えてみるべき。
	sa0078	海岸線後退で災害が心配だ。
ウミガメの産卵に配慮	sa0079	アカウミガメは日本で産卵、その中でも宮崎の海岸は重要。最大限の配慮を。
	sa0080	ウミガメが産卵に来る住吉海岸は、世界規模で見てもとても重要なものだと思う。
自然景観と利活用	sa0081	あんなきれいな砂浜なので、もっと多くの人々が利用すればなあと思う。
	sa0082	対象の海岸はまっすぐな砂浜が魅力。これを失ってはならない。
	sa0083	養浜のみで現在の砂浜のみの海岸を続けたほうが、映画のロケ地としての活用や観光地としての活用など、経済効果が期待できるのでは？
自然景観・自然との共生	sa0084	富田浜は侵食が少なく、今年はコアジサシが飛来している。この様子をどう思われますか？
	sa0085	どこまでも砂浜が続く住吉海岸はとても美しいと思う。
	sa0086	自然景観が著しい変化して人間社会まで影響
対策について(その1)	sa0087	今日、石崎海岸をに行きました。以前より砂がついていた。特に護岸を設置したところは改善されている。
	sa0088	景観面と環境面を考えると、養浜だけにして欲しい。
	sa0089	一ツ瀬川の導流堤を考えてみるべき。
	sa0090	ヘッドラント+養浜のパターンと養浜だけのパターンの比較データがもっと欲しい。(10年、20年単位の砂のつき具合や養浜のみの場合の経済効果など)
その他	sa0091	侵食の現状を行政は国民へ徹底して認識させ、自然破壊防止を訴えるべき。
対策について(その2)	sa0092	養浜の砂の選定が必要。今の養浜の砂は小石が多く不適當。
	sa0093	砂浜に構造物が出来ると魅力はなくなる。
	sa0094	消波ブロック・離岸堤(住吉海岸南)は海岸に立つと圧迫感がある。
	sa0095	ヘッドランド工法を入れた場合の景観悪化に対して、シーガイアやSNAなど影響を少なからず受ける企業にも意見を聞くべきでは？
	sa0096	現在、赤江浜の人工リーフは、ほぼ砂に沈んで効果を保てないでいるので、ヘッドラント工法にも期待できない。
	sa0097	工法についてはメリット、デメリットの公開を！
	sa0098	侵食対策として、突堤が有効と思います。早急に2基ぐらい設置し、結果をみる。
	sa0099	ヘッドランドの図は鳥瞰図だけでなく、海岸に立ったときに見える図も必要。
	sa0100	数年来、調査研究されているが、国、県、市が一体化して早急に対応すべき。
	sa0101	ダムの堆砂や宮崎港の問題も議論すべき。
	sa0102	侵食の原因として、宮崎港の開発が影響しているのではないかと。
	sa0103	侵食対策は養浜が先行しているが、海流の変化を早く調査。
	sa0104	海岸への砂の供給が減っているなら、その原因も突き止めて考えていくべき。
	留意すべき事	sa0105
sa0106		養浜もどこの砂かが大事。大淀川の砂と一ツ瀬川の砂とでも違う。
その他(その2)	sa0107	綾の照葉樹林を見習い、復元こそ目標とすべき。
名称について	sa0108	提案 佐土原・住吉海岸とすべきでは！
	sa0109	名称 住吉海岸とひとくくりは抵抗感あり。佐土原では二ツ建(立)、大炊田、明神山海岸と名前がついている。
委員会について	sa0110	委員会の構成は不公平感がないように色んな分野から。
その他(その3)	sa0111	数年前に突堤の設置が決まっていたが実行を速ぐべき。
意見の数		38

カテゴリー	記号番号	コメント
対策 (突堤・導流堤)	sa0112	突堤に賛成です。サーフィン&環境保護の視点から
	sa0113	これから3本の突堤をつくると聞いているが本当にできるの？
	sa0114	侵食対策について。養浜+突堤を試験的に早く実現して欲しい
	sa0115	石崎川の河口に防波堤を作る構想はないのか？(川の流れが変化している)
	sa0116	一ツ瀬川の南側導流堤と右岸の堤防との間の砂が多量に積まれては、沖に流失し無駄金になっている。一考を要する。
砂をどこから	sa0117	養浜のやり方として、オーストラリアゴールドコースト(たしか)では、ベルトコンベアで砂を運んでいるようです。
	sa0118	一ツ瀬川の河口の中の砂を取って海岸にする。
	sa0119	宮崎港近くの堆積している砂は今後どうするの？
	sa0120	砂浜は残って欲しいです。砂浜に育つ植物を守るため。
	sa0121	一ツ瀬川で日向大橋の下の方に砂が堆積していて全体的に川が浅くなり困っている。この砂を養浜に相当の量として利用が可能と思われる。
	sa0122	一ツ瀬川河口南岸(右岸)の浜砂が川に押し上げられて、船の出入りに事故が多し。
	sa0123	施工の方法が海岸の景観をそこなわないかが心配。
観光・工事影響	sa0124	観光宮崎には多大な影響があるので、緊急な対処が必要である。
	sa0125	大淀川の砂を石崎浜荘北側に積んであるが、養浜と聞いているが、どのように調査(?)するのか。
	sa0126	侵食対策について。利用と環境と配慮の比率を明確化して対策を考えるべきである。
	sa0127	離岸堤は反対です。サーフィンができなくなります。
	sa0128	砂がなくなるとサーフポイントが消滅してしまいます。
その他	sa0129	海岸について思っていること。砂浜が少ない。遊び場が少ない。安心して海岸にいけない(人的危害が考えられる。犬の放置等)
	sa0130	いろんな人に現況を知らせる手段を工夫する必要がある。
	sa0131	ワークショップで意見が出せてうれしく思います。
	sa0132	子供達とのレク活動ができる場所ない。
	sa0133	台風たいさくとして松林の増(増林)を年次的に計画して欲しい。
	sa0134	大きな台風で一気に砂がなくならないか不安です。
	sa0135	砂が減っていくのを見ると悲しく思います。
環境・カメ・植物	sa0136	侵食対策について。護岸工事については費用対効果も必要であるが、自然にやさしい工法を望む。
	sa0137	写真を見て、このままでは、動植物だけの被害にとどまらず、人の生活を脅かす現象だと思う。
	sa0138	カメの人工孵化場所を守るべきと思う。
	sa0139	海鳥が産卵できる場所を早く確保して欲しい。
	sa0140	養浜に賛成です。サーフィン&環境保護の視点から。
	sa0141	アカウミガメの現状を詳しく知りたい。
	sa0142	亀の産卵に岸壁が障害になっている。特にテトラポットがある所は、その間にはまって海に帰れず、死んでいるのも見ることがある。
	sa0143	浜ギリが出来る砂浜の確保して欲しい。
	sa0144	アカウミガメの上陸が防波堤ができてどういう風が変わってきたのか。大切にしたいアカウミガメですが…。
意見の数		33

H19.6.19 住吉海岸（仮称）懇談会（佐土原総合支所） 質問・意見要旨

- ワークショップ形式も大事だと思うが、意見を述べてみんなが聞くということも大事だろうと思う。
- 私の地区で、海岸ではないが、圃場整備が進んでいます。その課程の中で、自然の問題とか色々出てきました。意見書とか出して、委員会みたいなものが設けられ、意見を書いて提出したが、何にも回答がなかった。そういう意見が反映される懇談会であってほしい。
- いろんな意見があり大切だと思う。個人が思っていることが重要だとする時に、直接意見を言える場というか、ホームページで公開されるとかだけでなく、全体の中で意見が言える場を別に設けてほしい。
- ワークショップ形式でやるということは、良いと思うが、例えば漁業関係者であるとか環境保護を唱えている立場の方とかが満遍なくグループに入っているのが条件ではないかと思う。
- どういう人が委員会のメンバーになるのか、環境の人とか、サーフィンをする方、漁業や農業を行う方が満遍なく入った委員構成になるのか。